



西中の風

～ 凡事徹底 ～

伊丹市立西中学校

校長 阪本 直美

『2学期が終了しました』

I 【2学期終業式（式辞）】

今年も残りわずかとなってきました。みなさんにとってどのような1年だったでしょうか。

世界や日本の出来事に目を向けると、世界的に物の値段の高騰や経済の動きが不安定で、私たちの暮らしにも影響がありました。また大規模な火災の発生が多く、12月には三陸沖でマグニチュード7.6の強い地震もあり、改めて日頃の備えや命を守る判断の大切さを感じました。

しかし明るいニュースもいくつかありました。まず日本人研究者による医学や科学系でのノーベル賞のダブル受賞の年となり、このことは日本の研究力を示す証であり、日本の科学界全体にとって大きな励みとなりました。また、大阪で関西万博が開催され、多くの国々や企業が集まり、持続可能な未来の社会に向けて考える機会となりました。9月には東京で世界陸上が開催され、選手の挑戦する姿に勇気と感動をもらいました。

令和7年は明るい話題があった一方、不安な出来事もありました。これから大人に近づいていくみなさんが、今後社会に関心を持ち世界にも目を向けて、自分にできることを考える力をつけていくことが大切だと思います。



さて今日で2学期が終了します。まずは日々の学習や行事、部活動にしっかり取り組んだみなさんを讃えたいと思います。そして、1学期と比べて、毎朝、先生の目を見てあいさつをする人や会釈をしながらあいさつをする人が増えてきたと感じており、このことを嬉しく思います。

2学期は1年間の中で最も長い学期であり、行事も多く、忙しさを感じた人もいたかもしれません。体育大会や文化祭、生徒会選挙、校外学習、そして日々の授業。その一つひとつがみなさんを成長させる大切な経験となりました。クラスの仲間と協力し合う姿、困難に向かいなんとか乗り越えようとする姿が印象に残っています。

体育大会ではクラスの仲間と声を掛け合い、最後まで精一杯演技をしたり走り抜いたりした姿がとても輝いていました。文化祭では、自分たちの表現をより良くするために話し合ったり、工夫を凝らしたりする姿に成長を感じました。生徒会選挙では立候補した人だけではなく、みんなが「過ごしやすい西中にするため」の思いを示してくれました。校外学習では、次の学年の行事を意識しながら目標を立て、班で協力しながら取り組んでいました。

日々の学習や授業では、自身の学びだけではなく、自分の考えを伝える力や、積極的にペアワークやグループ活動を行い、友達の考えを聞きながら自分の学びを前進させる力がついた人も増えてきま

